

第4次広島市食育推進計画の評価指標と第4次食育推進基本計画(国)の目標との比較

参考資料2

【本市計画】 第4次広島市食育推進計画 (R3-R8)					【国計画】 第4次食育推進基本計画 (R3-R7)														
第4次広島市食育推進計画の目標		指標(案)		現状値 (R2年度)	目標値(案) (R8年度)	食育の推進に当たっての目標			現状値 (R2年度)	目標値 (R7年度)									
総合評価	健全な食生活を実践する市民を増やす	健全な食生活を実践する市民の割合		70.6%	80%以上	食育に関心を持っている国民の割合			83.2%	90%以上									
基本方針・施策展開					指標(案)					現状値					目標値(案)				
生涯を通じて心身の健康を支える食育の推進	栄養バランスや減塩に配慮した食生活の推進	「和食」を実践している人の割合		67.1%	80%以上	生活習慣病の予防や改善のために、ふだんから適性体重の維持や減塩等に気を付けた食生活を実践する国民の割合			64.3%	75%以上									
		主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている人の割合		未把握	50%以上	栄養バランスに配慮した食生活を実践する国民を増やす	食塩摂取量の平均値	10.1g*	8g以下										
		元気じゃけんひろしま21協賛店・団体(食生活協賛)の認証数		415店舗	700店舗		野菜摂取量の平均値	280.5g*	350g以上										
					果物摂取量100g未満の者の割合		61.6%*	30%以下											
					主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている国民の割合		36.4%	50%以上											
	健康的な食べ方(規則正しく、よく噛んで等)の実践に向けた取組の推進	朝食を毎日食べることが習慣になっている子どもの割合	小学生	95.5% (R3年度)	100%	朝食を欠食する国民を減らす			該当する目標なし										
			中学生	94.0% (R3年度)															
		朝食を毎日食べることが習慣になっている若い世代の割合	20歳代男性	72.3%	85%以上							朝食を欠食する子供の割合			4.6%*	0%			
			20歳代女性	77.3%								朝食を欠食する若い世代の割合			21.5%	15%以下			
			30歳代男性	76.1%															
30歳代女性	85.7%																		
よく噛んで食べるなど食べ方に配慮する人の割合		73.5%	80%以上	ゆっくりよく噛んで食べる国民の割合			47.3%	55%以上											
持続可能な食を支える食育の推進	食を通じたコミュニケーションの機会を増やす取組の推進		「輪食」を実践している人の割合	69.5%	80%以上	地域等で共食したいと思う人が共食する割合			週9.6回	週11回以上									
	郷土料理や広島の食文化への理解と伝承の促進		郷土料理や行事食を月1回以上食べている人の割合	未把握	50%以上	地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えていく国民の割合	50.4%	55%以上											
	農林水産業の重要性を理解し実感する活動の促進		農林水産業の体験交流人口	68万人	106万人以上	郷土料理や伝統料理を月1回以上食べている国民の割合	44.6%	50%以上											
	ひろしまの地産地消を普及する取組の推進		「ひろしまそだち」を購入したことがある世帯の割合	69.9% (H30年度)	70%以上	農林漁業体験を経験した国民(世帯)の割合	65.7%	70%以上											
	学校給食における地場産物の使用割合(品目別使用割合の平均)				69.9% (H30年度)	70%以上	産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合			73.5%	80%以上								
			学校給食における地場産物の使用割合(品目別使用割合の平均)		31.3%	40%以上	学校給食における地場産物を使用する割合(金額ベース)を現状値(令和元年度)よりも維持・向上した都道府県の割合	-	90%以上										
	食品や食材の廃棄を減らす取組の推進		「環食」を実践している人の割合	79.7%	83%以上	学校給食における地場産物を活用した取組を増やす	栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の平均取組回数		月9.1回*	月12回以上									
						環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民の割合			67.1%	75%以上									
						食品ロス削減のために何らかの行動をしている国民の割合			76.5%*	80%以上									
						食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する国民の割合			75.2%	80%以上									
「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進		健全な食生活を実践する若い世代の割合	20歳代男性 57.2% 20歳代女性 64.4% 30歳代男性 63.0% 30歳代女性 74.0%	70%以上	該当する目標なし														
全市一体となった広島らしい食育推進運動の展開		「わ食の日」を認知している人の割合		31.0%	50%以上	該当する目標なし													
該当する目標なし					食育の推進に関わるボランティア団体等において活動している国民の数					36.2万人*	37万人以上								

新たに追加された目標

*は令和元年度の数値